



夏の開園は4月28日から11月3日までです。
9:30~17:15(最終入園は16:15まで)

ASAHIYAMA ZOO

発行所
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

釧路市動物園より来園 シマフクロウ

4/28 夏の旭山開園!



シマフクロウ舎
(これまでの もうきん舎)

2年前にオープンした「もうきん舎」、実は、シマフクロウのためにつくられた施設でした。主に魚を食べるシマフクロウのために、池などの水辺がつくられています。ここではガラスごしに、シマフクロウが魚を食べる様子なども見られるような施設になっています。

これまでは、くらし方が似ているオジロワシ(冬にはオオワシも)を展示していましたが、この夏からはシマフクロウを展示します。



シマフクロウ

学名: *Ketupa blakistoni*

日本では北海道中部・東部に分布
体重: 約3~3.5kg
翼をひろげると、1.8メートルにまでなる

これまで、シマフクロウを飼育している動物園は、国内で釧路市動物園の1園だけでした。これから、飼育下での安定した繁殖ができるように、そして、感染症が発生した時に備えて、今回の移動が行われました。旭山動物園と円山動物園に1羽ずつ移動し、3園で分散飼育することになりました。

シマフクロウは、森の減少などで、絶滅が心配されているフクロウです。将来、シマフクロウを絶滅させないためにも、旭山動物園はシマフクロウの魅力に加え、くらしや野生の現状などをお伝えしていきます。

シマフクロウは、フクロウの仲間です。その大きさや、迫力・羽ばたく時の音など、ぜひ、動物園に来て、見て、感じてみてください。シマフクロウが旭山の新しい環境にもなれていけるよう、様子をみながら調整してまいります。開園日には、シマフクロウ舎で元気な姿が見られるといいですね。

ゴールデンウィークとともに、いよいよ夏の動物園が始まります。今年は旭山動物園が開園して45周年という節目の年です。秋には、北海道産動物コーナーのリニューアル(予定)があり、老朽化が心配されていた総合動物舎の建て替えも具体的になってきています。総合動物舎は開園した時からある動物舎です。これまで歩んだ45年の長い歴史を感じつつ、新しい動物園の形へと近づいてきています。

さて、今年の夏の開園にむけて、旭山動物園で初めて飼育・展示する動物がやってきます。先月、釧路市動物園からシマフクロウ(メス・1才)が来園しました。

今年の秋

北海道産動物コーナー リニューアル!

楽しみに
まっけてね!

今年の秋、北海道産動物コーナーが新しくなります。そのため、夏の開園から北海道産動物コーナーは工事のため、一時お休みとなります。ここでくらししていた キタキツネやエゾタヌキ・エゾリスやフクロウなどは、別の施設で仮住まいとなります。その間、展示はお休みします。



←エゾタヌキ
↓アライグマ

これまでは、もともと北海道でくらししている動物の展示をおこなってききましたが、新しい施設では、人によって連れてこられ、北海道でくらすようになった生き物たち(外来生物)も展示することになります。例えば、外来生物のアライグマとタヌキ、似ているようにみえるけれども、生きていた環境やくらし方からだつきなどが全く違います。比べて観察することで、動物たちのこと知り、人と動物の関わりや北海道の自然について考える機会になってもらえればと思います。どうぞ、秋のオープンを心待ちにしてくださいね。

